

【NRCLレポート】

# 2019年7月参議院選挙に関するWEB調査



日本リサーチセンター

Member of WIN and Gallup International Association

東京都墨田区江東橋4-26-5東京トラフィック錦糸町ビル

TEL:03-6894-6400 (代)

<https://www.nrc.co.jp/>

## ◆調査目的と課題

日本リサーチセンターでは、2019年7月の参議院選挙について、全国の18～69歳男女を対象に、投票の一週間前と投票後の2回のアンケート調査を行いました。

本調査は、公募式モニターのWEB調査を利用することで、電話調査や出口調査では聴取が難しい、選挙に対する意識や行動を理解することを目的としています。参議院調査の認知度や一週間前の予定と実際の投票行動の一致度などを把握することができます。

## ◆調査のフレーム

同一対象者の事前と事後のトラッキング調査

**事前調査**：投票日の1週間前後に実施

**事後調査**：投票日の開票直後から実施

2019年7月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4 (公示日)	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21 (投票日)	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

事前調査

事後調査

### ◆ 参議院選挙があることを知っていたか？

→選挙があるのを知らなかったのは4%。知ってはいたが投票日を知らなかったのは13%。投票日は知っていたのは83%であった。

→18～29歳では、1/3以上が参議院選挙の日にち、または選挙があることを知らなかった。

→政治への関心度によっても大きく差があった。

### ◆ 投票に行く、行かないを決めたのはいつ？

→投票に行くのを決めたのは、公示前から決めていた人が多く、投票者に行かないのを決めたのは、投票日当日が多かった。

### ◆ 投票に行かなかった理由は？

→投票したいと思う候補者も政党もなかったからが理由のトップであった。

### ◆ 選挙や投票についての意識は性別や年代で差があるか？

→「政治のことは自分には難しいと感じる」では、女性や若年層で高い傾向があった。

### ◆ 一週間前の予定と実際の投票先は？

→一週間前に投票先が決まっていなかった人は、野党に入れた割合が高かった。

→与党から野党、野党から与党に変えた人は少なかった。

### ◆ 投票先に入れた理由は？

→立候補者・政党の政策に期待が持てるからが、選挙区・比例代表で理由のトップであった。

### ◆ 今回の参議院で気にしていた政策課題は？

→投票者全体では「年金」、「消費税」、「景気・雇用」が5割を超えて高かった。

### ◆ 今回の情報源は？

→事前の参考情報にはテレビのニュース番組、また投票の決め手になったのは選挙公報の割合が高かった。

→18～29歳では、決め手になった情報源は「街頭にあるポスター」、「政党・候補者のSNS」が他の世代より高い。

### ◆ 投票先を決めたのはいつ？

→選挙区と比例代表ともに、3割弱が公示前に決めていると回答している。

### ◆ 投票所への時間と投票率の関係は？

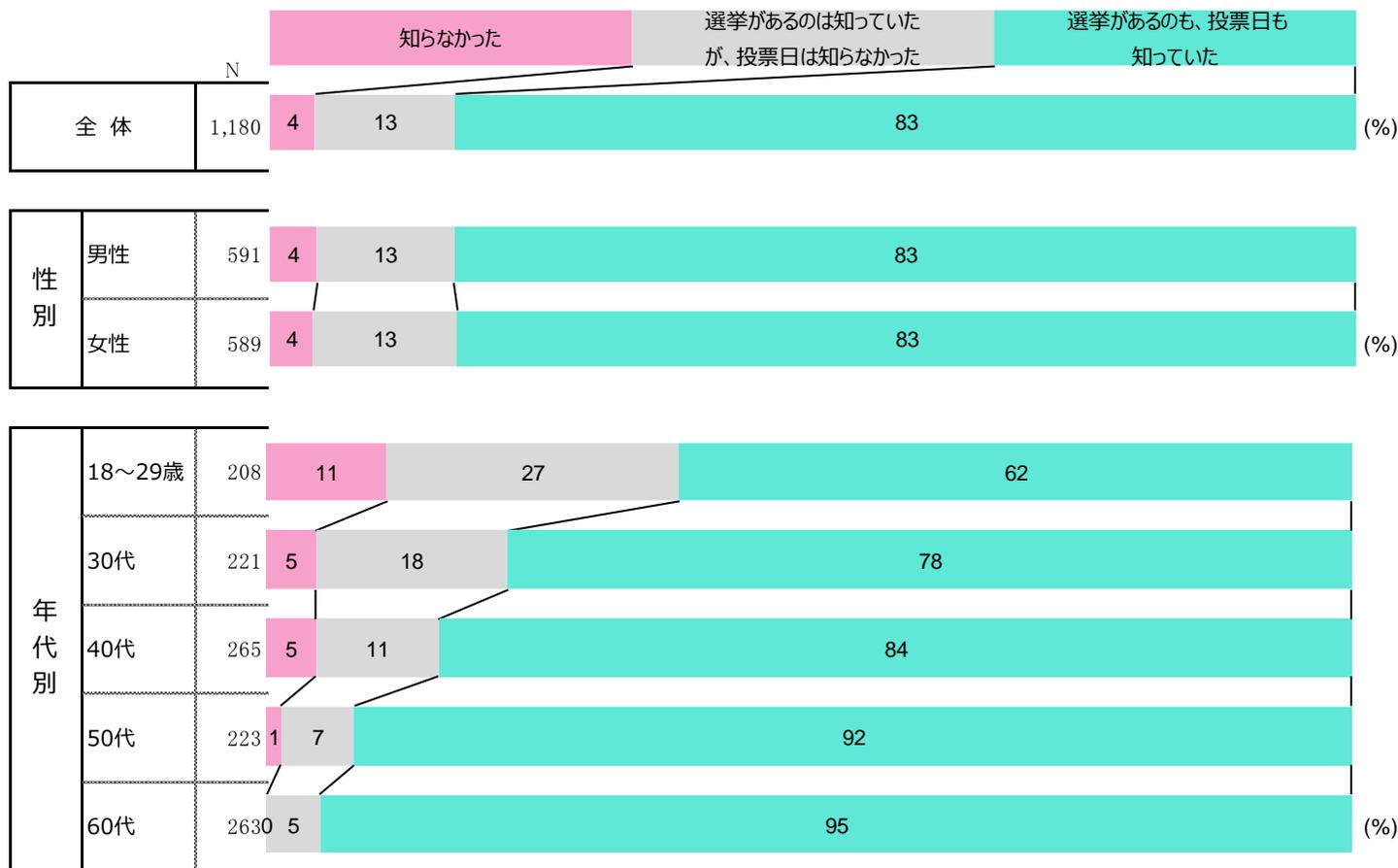
→投票所への時間がかかると、投票率が低くなる傾向にあった。

### ◆ もし今回の参議院選挙でインターネットで投票できたら？

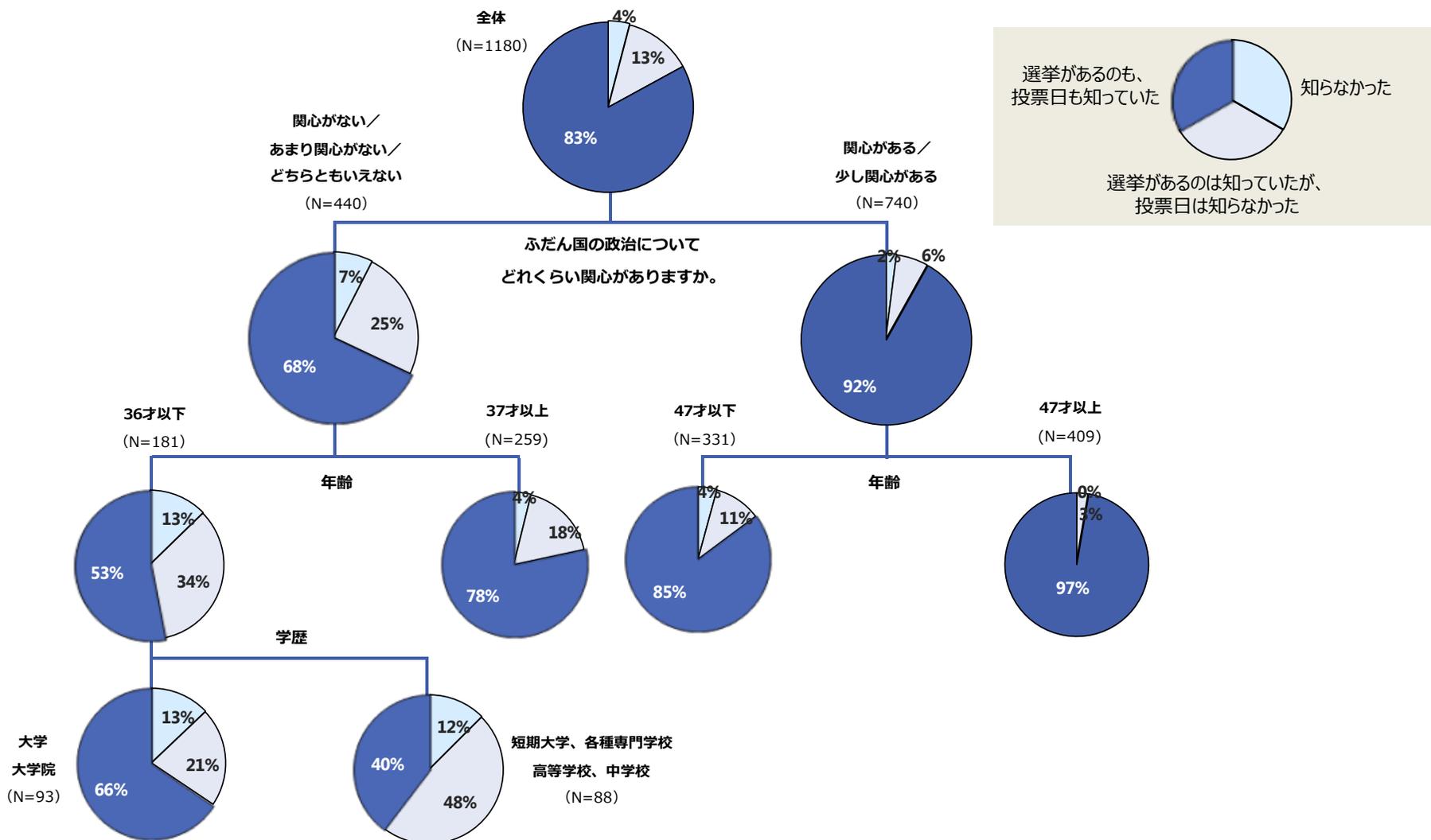
→インターネットによる調査ではあるが、非投票者で半数以上が投票していたと回答した。

- ◆一週間前の事前調査で、投票の前提として参議院選挙が7月21日に行われることを知っているかを質問した。
- ◆全体の4%は「知らなかった」と回答した。また13%は「選挙があるのは知っていたが、投票日は知らなかった」、83%は「選挙があるのも、投票日も知っていた」と回答した。
- ◆年代が下がるほど、「知らなかった」が高くなる。18～29歳では、11%が「知らなかった」と回答しており、「選挙があるのは知っていたが、投票日は知らなかった」(27%) と合わせると1/3以上(38%)は、一週間前では参議院選挙の日にちを知らなかったことになる。

7月21日(日曜日)に参議院選挙があります。このことをご存知でしたか。(事前調査：単一回答)



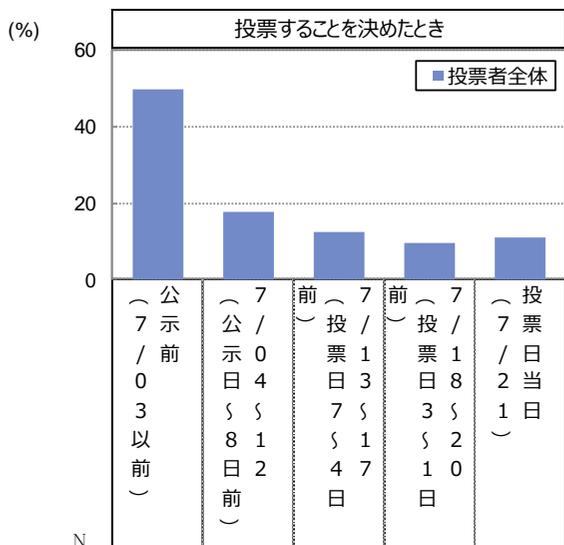
- ◆機械学習の一種である決定木（CARTアルゴリズム）を使って、参議院の認知率を分析してみた。
- ◆対象者の属性（性別、年齢、学歴など）と政治への関心度を説明要因として分析したところ、政治への関心度ですぐは分岐した。「関心がある」計グループの「投票日も知っていた」は、「関心がない」計+「どちらともいえない」グループより高かった。
- ◆次の層は、どちらの分岐も年齢で分岐して、どちらも年齢が高いグループの「投票日も知っていた」が高かった。
- ◆「関心がない」計+「どちらともいえない」かつ36才以下の分岐では、学歴が「大学」、「大学院」グループで「投票日も知っていた」が、その他の学歴より高かった。



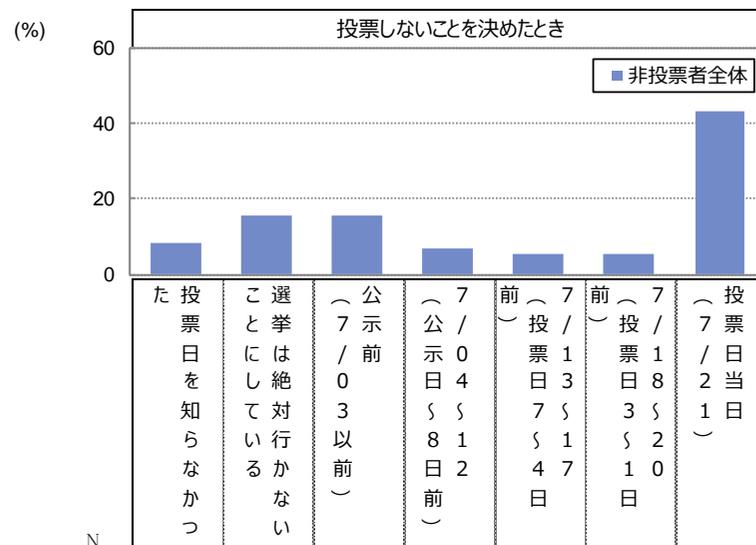
- ◆投票者（803人）に投票するのを決めたのはいつか、また非投票者（377人）には投票しないことを決めたのはいつかをそれぞれ質問した。
- ◆投票に行くのを決めたのは、公示前から決めていた人が、投票者全体の約半数だった。18～29歳は公示前が低いなどの年代差がみられる。
- ◆投票に行かないのを決めたのは、投票日当日が43%であった（この質問には、「投票日を知らなかった」、「選挙には絶対行かないようにしている」人が含まれている）。18～29歳は投票日当日が他の世代より低いなど差がある。

投票に行くのを決めたのはいつでしょうか。（事後調査：単一回答）

投票に行かないのを決めたのはいつでしょうか。（事後調査：単一回答）



投票者	N	投票することを決めたとき				
		(7 / 0 3 以前)	(7 / 0 4 5 8 1 2 前)	(7 / 1 3 5 7 前)	(7 / 1 8 3 5 2 1 0 日)	(7 / 2 1 日)
投票者全体	803	49.6	17.6	12.5	9.5	11.0
男性	409	55.0	15.9	10.5	8.3	10.3
女性	394	43.9	19.3	14.5	10.7	11.7
18～29歳	126	34.1	25.4	13.5	8.7	18.3
30代	130	43.1	16.9	14.6	16.9	8.5
40代	176	47.2	18.8	9.7	11.4	13.1
50代	160	58.8	13.8	6.9	10.6	10.0
60代	211	57.8	15.2	17.1	2.8	7.1

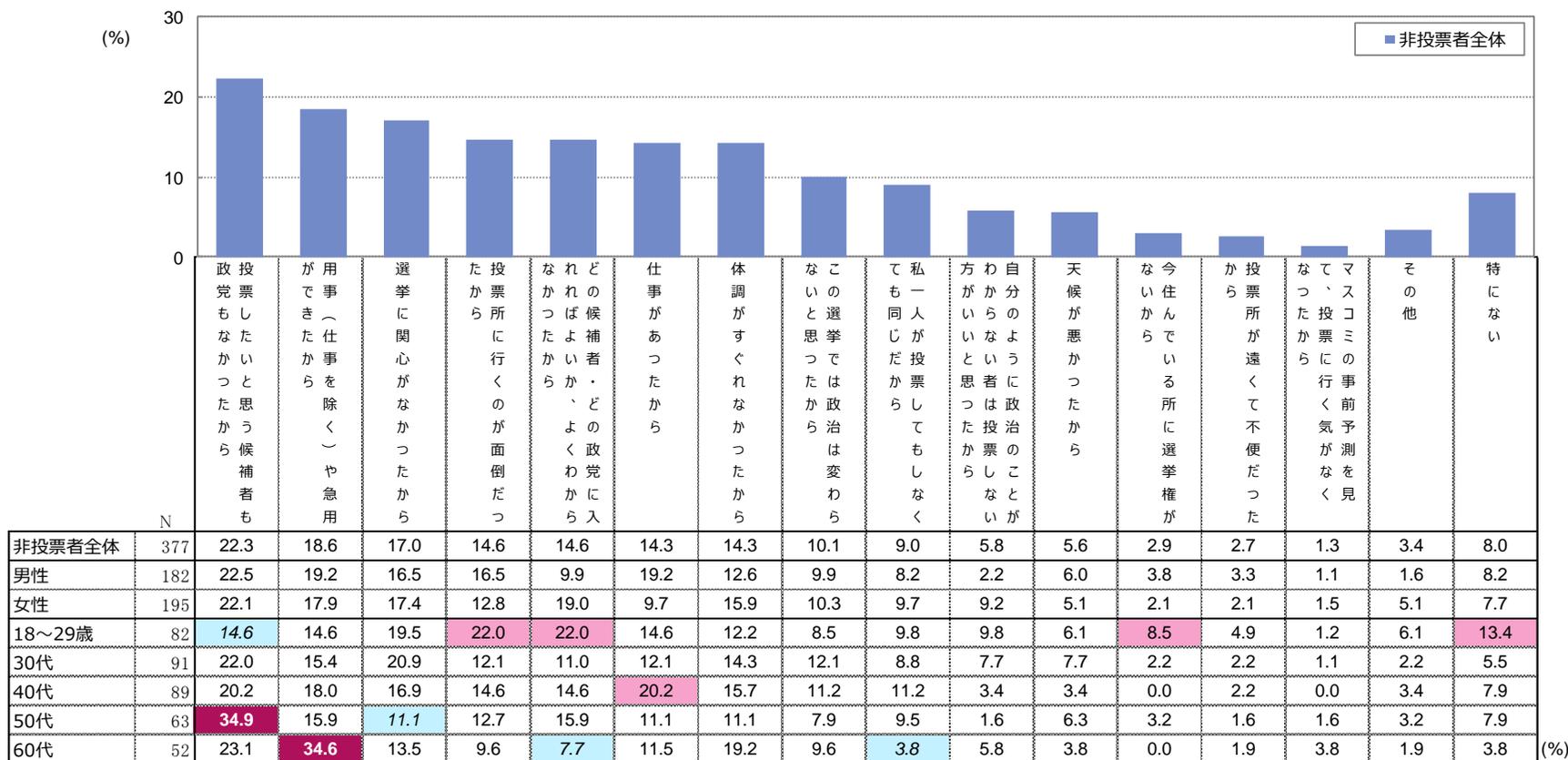


非投票者	N	投票しないことを決めたとき						
		た投票日を知らなかった	こ選挙には絶対行かない	(7 / 0 3 以前)	(7 / 0 4 5 8 1 2 前)	(7 / 1 3 5 7 前)	(7 / 1 8 3 5 2 1 0 日)	(7 / 2 1 日)
非投票者全体	377	8.2	15.6	15.4	6.9	5.3	5.3	43.2
男性	182	7.7	15.9	17.0	6.6	4.4	5.5	42.9
女性	195	8.7	15.4	13.8	7.2	6.2	5.1	43.6
18～29歳	82	15.9	22.0	13.4	8.5	11.0	4.9	24.4
30代	91	14.3	17.6	16.5	7.7	1.1	4.4	38.5
40代	89	4.5	13.5	14.6	4.5	4.5	5.6	52.8
50代	63	1.6	15.9	20.6	9.5	3.2	1.6	47.6
60代	52	0.0	5.8	11.5	3.8	7.7	11.5	59.6

(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、**XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、**XX.X** は5%以上低い

- ◆投票に行かなかった人（377人）に、行かなかった理由を聞いた。
- ◆最も高いのは「投票したいと思う候補者も政党もなかったから」であった。次いで「用事（仕事を除く）や急用ができたから」、「選挙に関心がなかったから」が高かった。
- ◆性別で大きな違いはなかったが、18～29歳は「投票所に行くのが面倒だったから」、「どの候補者・どの政党に入れればよいか、よくわからなかったから」、「今住んでいる所に選挙権がないから」、「特にない」が、非投票者全体よりも高かった。

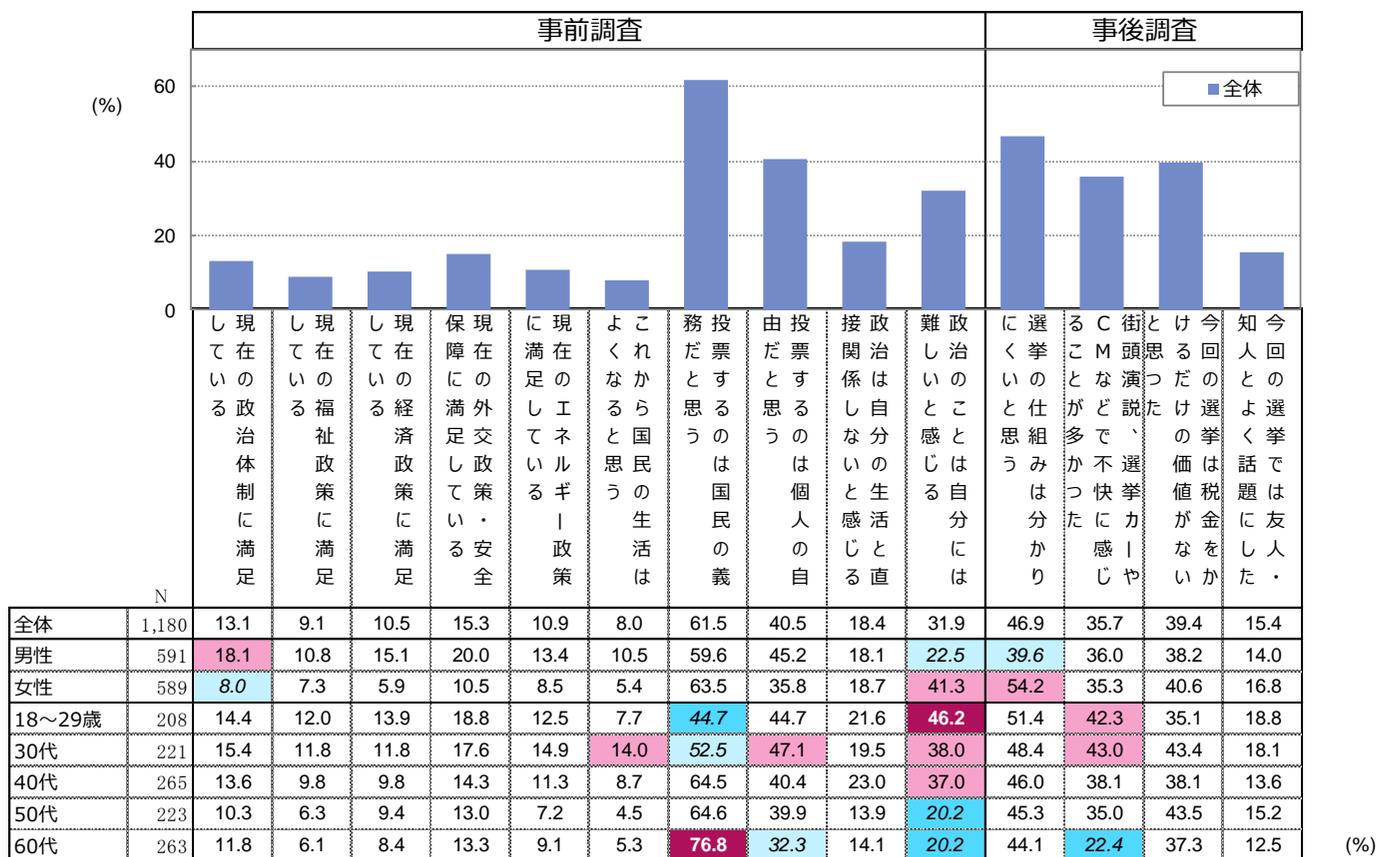
投票に行かなかった理由をお知らせください。（事後調査：複数回答：降順ソート）



(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、 **XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、 **XX.X** は5%以上低い

- ◆ 選挙や投票の意識について、性別・年代別で違いをみる。
- ◆ 性別では、「現在の政治体制に満足している」では男性の方が高く、「政治のことは自分には難しいと感じる」、「選挙の仕組みは分かりにくいと思う」では女性の方が高い。
- ◆ 年代別で18~29歳に注目すると、他の年代に比べて、「投票するのは国民の義務だと思う」が低く、「政治のことは自分には難しいと感じる」、「街頭演説、選挙カーやCMなどで不快に感じるが多かった」が高かった。

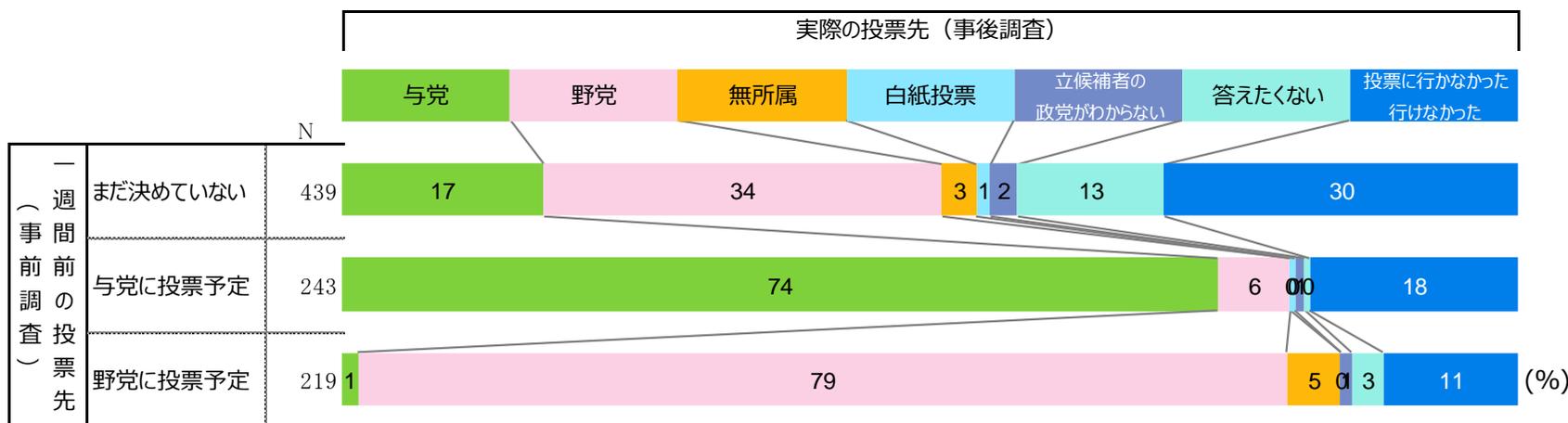
選挙や投票について、あなたの場合はいかがでしょうか。「当てはまる」+「やや当てはまる」計（事前+事後調査 複数回答）



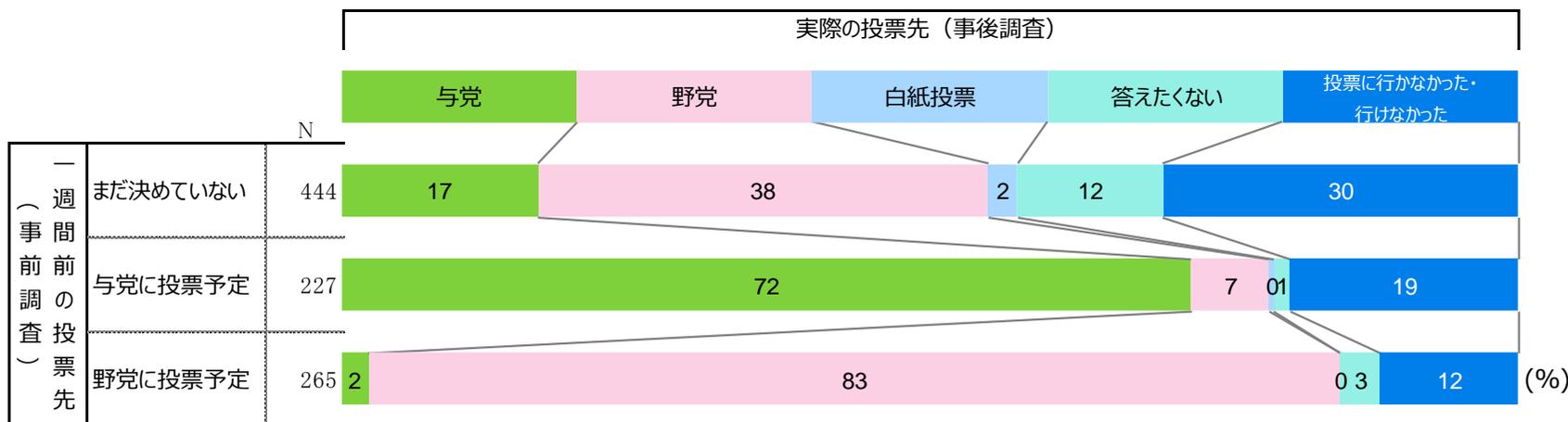
(注) XX.X は全体より10%以上高い、XX.X は10%以上低い  
XX.X は全体より5%以上高い、XX.X は5%以上低い

- ◆一週間前の投票先の予定と、実際の投票先を、①選挙区における立候補者の政党と②比例代表の政党について比較してみる。
- ◆一週間前の投票先の予定を、「まだ決めていない」、「与党に投票予定」、「野党に投票予定」の3つに分類して分析する。
- ◆まだ決めていなかった人は、選挙区と比例区ともに、野党に入れる割合が3割を超えて、与党より2倍も高かった。一方、投票に行かなかった・行けなかった割合も3割と高い。
- ◆与党から野党（選挙区6%、比例代表7%）、野党から与党へスイッチ（選挙区1%、比例代表2%）の割合は少なかった。

## ①選挙区



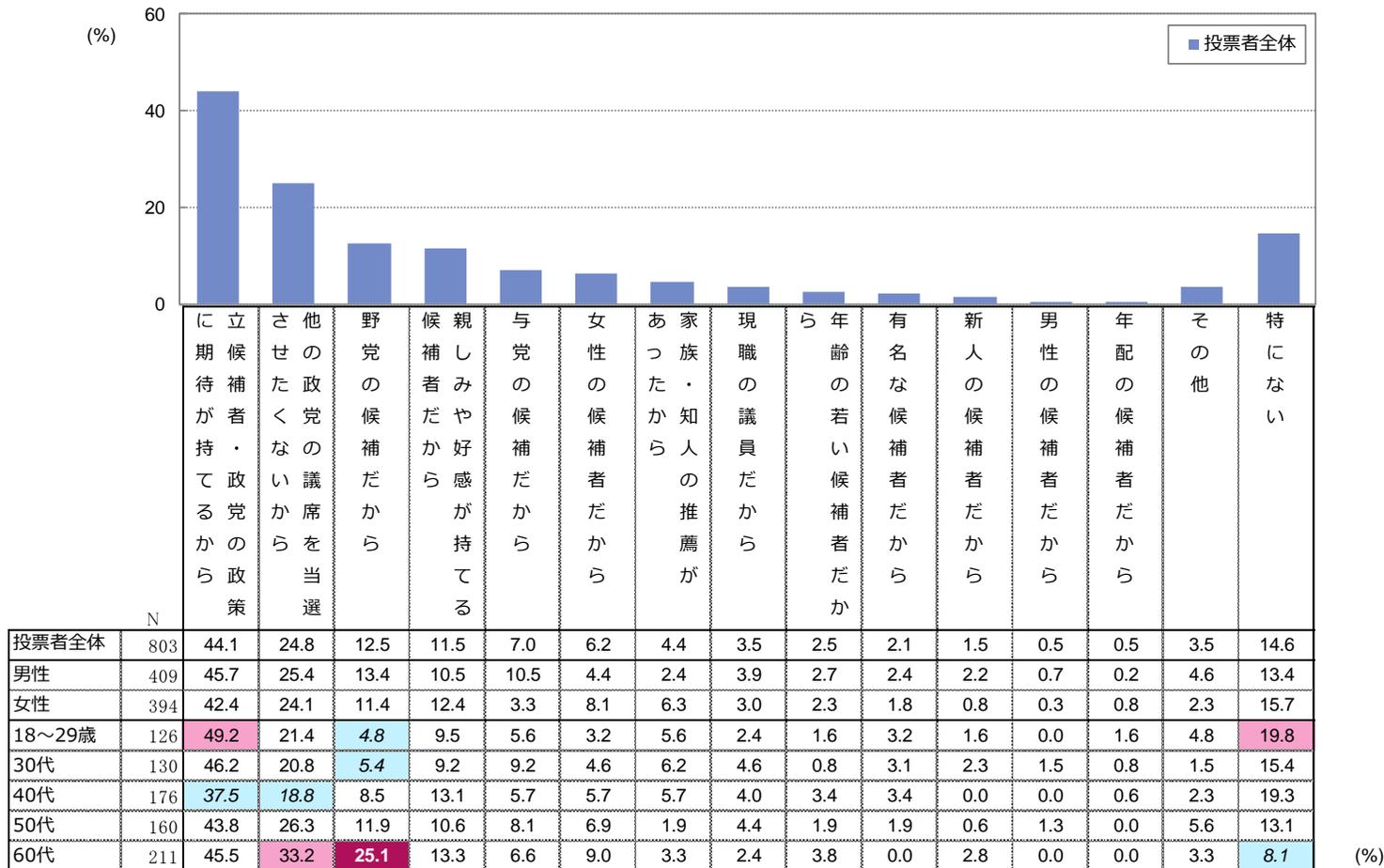
## ②比例代表



※事前調査で「無所属」、「白紙投票」、「立候補者がわからない」、「答えたくない」、「投票には絶対に行かない」は除く

- ◆投票者（803人）に、選挙区でその立候補者に投票した理由を、複数回答形式の質問で聞いた。
- ◆最も高かったのは、「立候補者・政党の政策に期待が持てるから」であった。次いで「他の政党の議席を当選させたくないから」で、この2つが2割以上で高い。
- ◆性別で傾向の違いはなかったが、「他の政党の議席を当選させたくないから」、「野党の候補だから」は60代で高く、18～29歳で「立候補者・政党の政策に期待が持てるから」が高い。

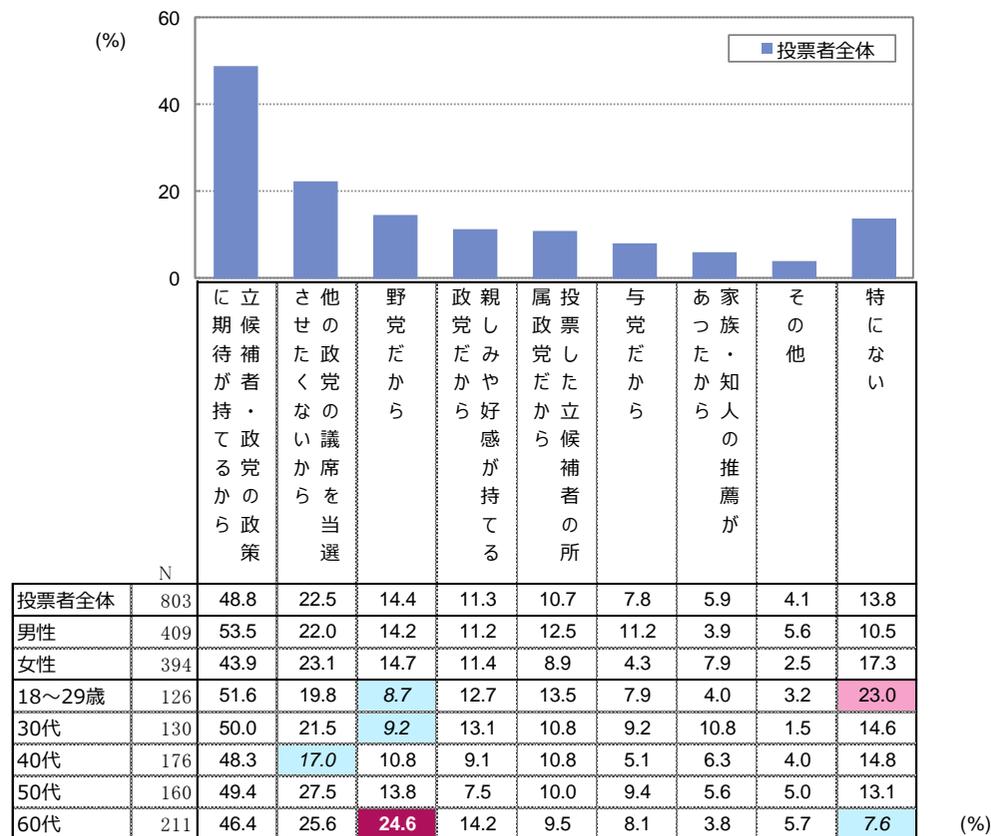
選挙区でその立候補者に投票した理由をお知らせください。（事後調査：複数回答降順ソート）



(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、**XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、**XX.X** は5%以上低い

- ◆投票者（803人）に、比例代表でその政党に投票した理由を、複数回答形式の質問で聞いた。
- ◆選挙区と同様の傾向で、最も高いのは、「立候補者・政党の政策に期待が持てるから」であった。次いで「他の政党の議席を当選させたくないから」がこの2つが2割以上。
- ◆年代別では、「野党だから」は60代で高く、30代以下で低い傾向がある。

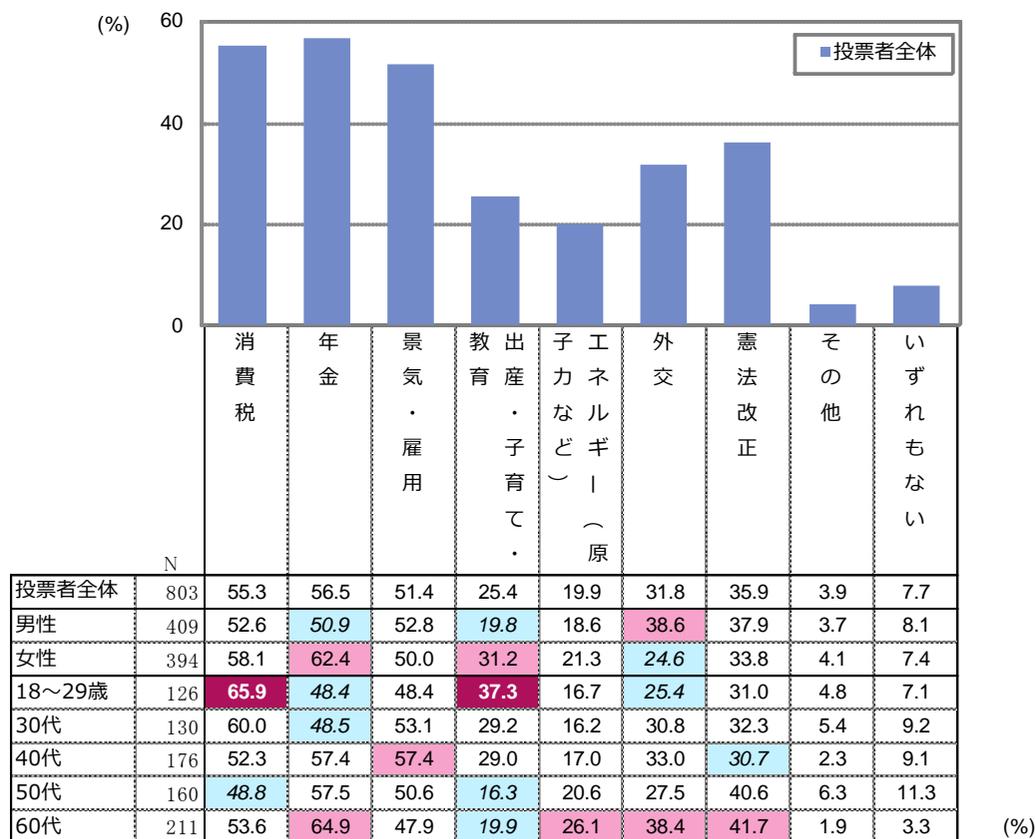
比例代表でその政党に投票した理由をお知らせください。（事後調査：複数回答：降順ソート）



(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、 **XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、 **XX.X** は5%以上低い

- ◆投票者（803人）に今回気にしていた政策課題はどれだったかを性別・年代別にみてる。
- ◆投票者全体では「年金」、「消費税」、「景気・雇用」が5割を超えて高かった。
- ◆性別では、男性は「外交」が高く、女性は「年金」、「出産・子育て・教育」が高い。
- ◆年代別で18～29歳に注目すると、他の年代より「消費税」、「出産・子育て・教育」が高く、「年金」、「外交」が低かった。
- ◆60代に注目すると、「年金」、「エネルギー（原子力など）」、「外交」、「憲法改正」が他の年代に比べて高かった。

今回あなたが気にしている政策課題はどれでしたか。（事後調査：複数回答）

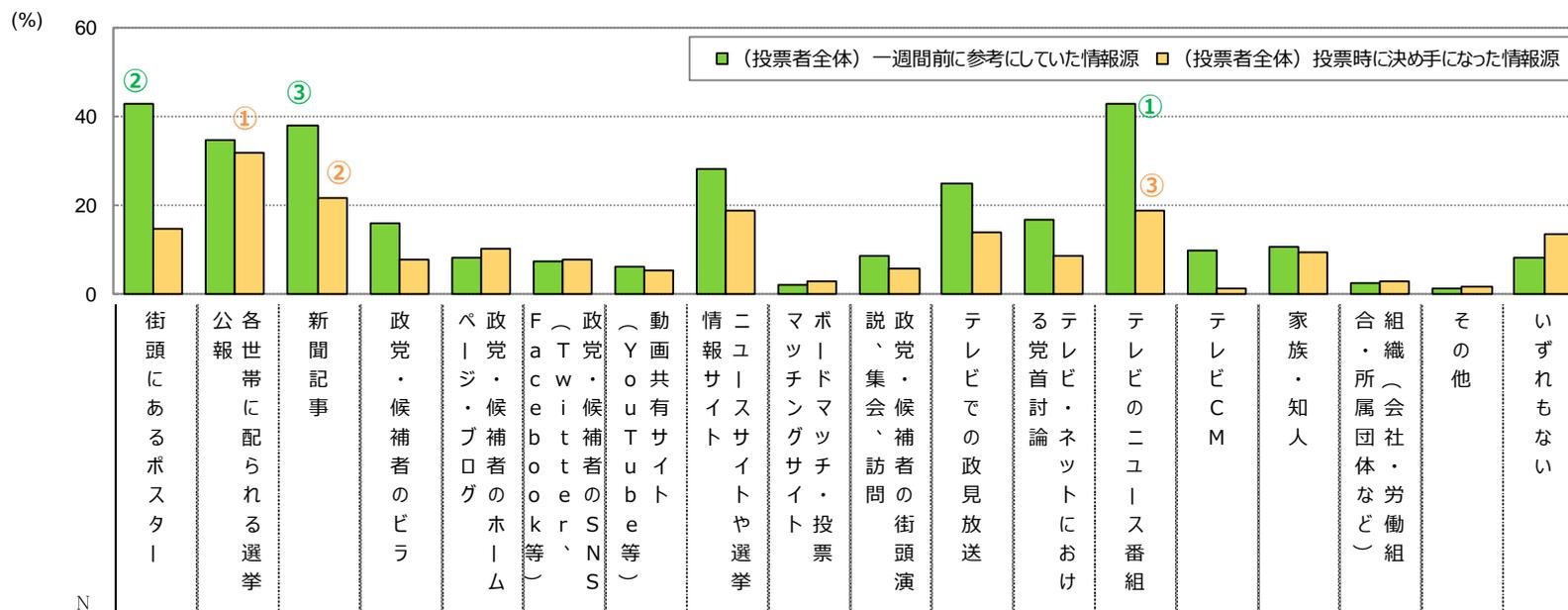


(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、**XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、**XX.X** は5%以上低い

- ◆今回投票者した人（803人）に対して、一週間前に参考していた情報（事前調査）と、投票時に決め手になった情報（事後調査）を比較してみる。
- ◆一週間前で最も高いのは、「テレビのニュース番組」、次いで「街頭のポスター」、「新聞記事」だった。一方、投票時の決め手では、最も高いのは「各世帯に配られる選挙公報」、次いで「新聞記事」、「テレビのニュース番組」と順位が変わる。
- ◆比例区で与党に投票した人と野党に投票した人で情報源の違いを比較すると、野党投票者は一週間前と投票時ともに「各世帯に配られる選挙公報」と「新聞記事」が与党投票者より高かった。

今回の参議院選挙について、現在、どのようなところから情報を得ていますか。（事前調査：複数回答）

今回の投票先を選ぶ時、参考にしたり決め手となった情報はどれですか。（事後調査：複数回答）



投票者	調査内容	N	情報源 (%)																	
			街頭にあるポスター	各世帯に配られる選挙公報	新聞記事	政党・候補者のピラ	政党・候補者のホームページ・ブログ	政党・候補者のSNS (Facebook, Twitter, etc.)	政党・候補者のYouTube等	動画共有サイト	情報サイトや選挙ニュースサイト	ポッドキャスト・投票マツチングサイト	説、集会、訪問	テレビでの政見放送	テレビ・ネットにおける党首討論	テレビのニュース番組	テレビCM	家族・知人	組合・所属団体・労働組	その他
投票者全体	一週間に参考していた情報源	803	42.7	34.5	37.9	16.1	8.2	7.2	6.2	28.0	2.1	8.3	24.9	16.8	42.8	9.8	10.5	2.5	1.2	8.2
	投票時に決め手になった情報源	803	14.4	31.8	21.4	7.6	10.0	7.7	5.1	18.6	2.9	5.9	13.7	8.3	18.8	1.4	9.2	3.0	1.6	13.4
比例代表 与党投票者	一週間に参考していた情報源	252	40.9	27.8	32.5	15.5	11.1	8.7	8.7	29.0	2.8	7.9	20.2	13.9	44.8	10.3	10.7	2.8	1.6	8.7
	投票時に決め手になった情報源	252	12.3	23.0	17.1	7.5	13.5	7.1	3.6	19.0	0.8	6.7	8.3	9.9	16.3	1.6	12.7	4.4	2.0	20.6
比例代表 野党投票者	一週間に参考していた情報源	422	45.0	41.5	44.8	18.7	6.4	7.1	5.5	28.9	2.1	9.5	27.5	19.2	45.3	9.7	10.2	2.4	1.4	5.9
	投票時に決め手になった情報源	422	14.9	36.5	23.5	8.3	7.8	8.5	6.4	18.5	4.0	5.9	15.9	6.6	21.3	0.7	6.9	2.4	1.7	7.8

- ◆投票者（803人）に対して、一週間前に参考していた情報（事前調査）と、投票時に決め手になった情報（事後調査）を性別・年代別で比較してみる。
- ◆性別では、女性は一週間前に参考していた情報で、「街頭にあるポスター」が男性より高かった。
- ◆年代別では、18～29歳は、一週間前に参考していた情報で「いずれもない」が高く、決め手になった情報源で「街頭にあるポスター」、「政党・候補者のSNS」が他の年代より高い。

今回の参議院選挙について、現在、どのようなところから情報を得ていますか。（事前調査：複数回答）

今回の投票先を選ぶ時、参考にしたり決め手となった情報はどれですか。（事後調査：複数回答）

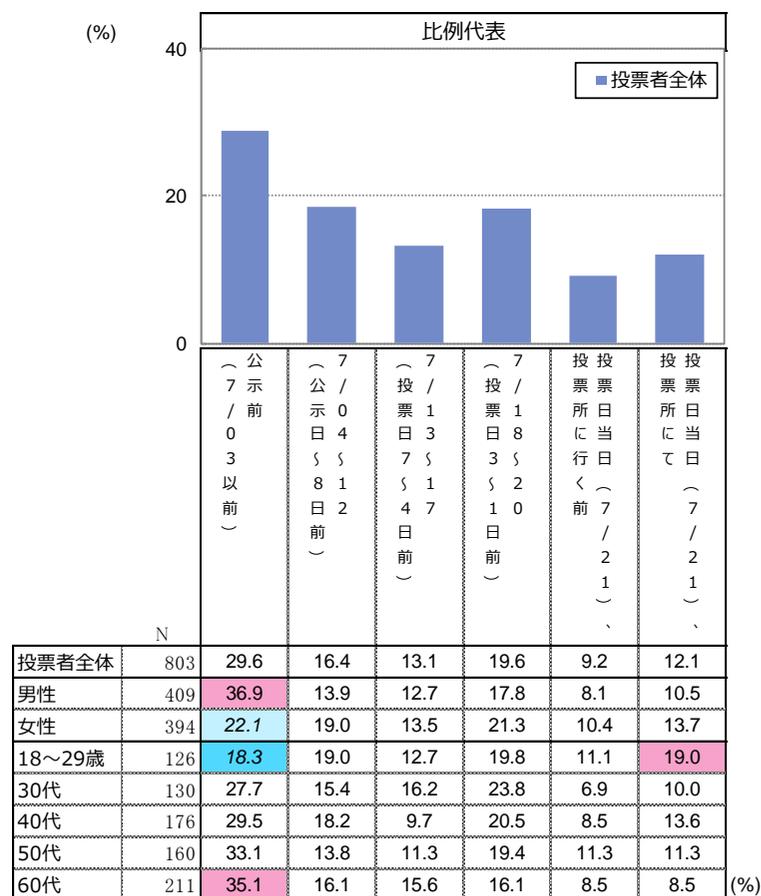
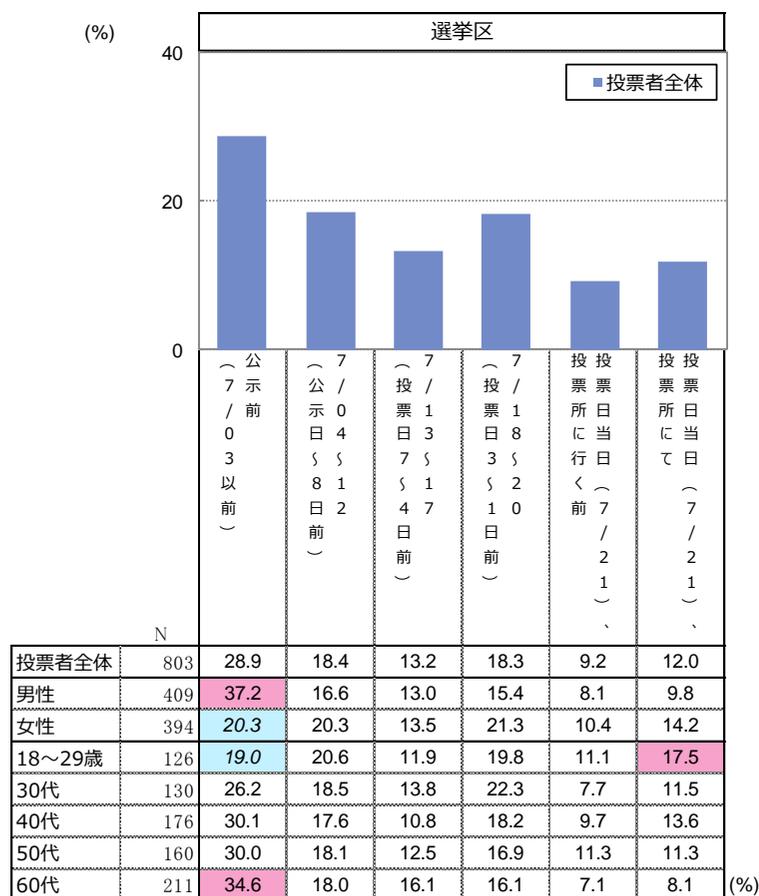
		N	街頭にあるポスター	拳公報	各世帯に配られる選	新聞記事	政党・候補者のピラ	ムペーシ・プログ	政党・候補者のSNS (Facebook等)	政党・候補者のSNS (Twitter等)	政党・候補者のSNS (YouTube等)	動画共有サイト	拳情サイト	ニユースサイト	マッティングサイト	ポッドキャスト	演説、集会、訪問	政党・候補者の街頭	テレビでの政見放送	ける党首討論	テレビ・ネットにお	組	テレビの二ユー	テレビCM	家族・知人	合・所 属 団 体 ・ 労 働 組	組 (会社・労働組)	その他	い	ず	れ	も	な	い			
し て 週 間 に 参 考 し た 情 報 源	投票者全体	803	42.7	34.5	37.9	16.1	8.2	7.2	6.2	28.0	2.1	8.3	24.9	16.8	42.8	9.8	10.5	2.5	1.2	8.2																	
	男性	409	36.4	33.5	38.9	15.9	10.8	8.6	7.8	31.5	2.0	8.3	21.5	18.6	43.0	10.3	5.6	3.2	1.2	9.0																	
	女性	394	49.2	35.5	36.8	16.2	5.6	5.8	4.6	24.4	2.3	8.4	28.4	15.0	42.6	9.4	15.5	1.8	1.3	7.4																	
	18～29歳	126	46.0	23.8	17.5	14.3	7.9	9.5	7.1	21.4	2.4	8.7	18.3	15.9	24.6	11.9	14.3	6.3	0.8	19.0																	
	30代	130	40.8	26.2	23.8	13.1	10.0	13.1	11.5	32.3	4.6	5.4	13.8	16.9	35.4	8.5	8.5	3.1	0.8	11.5																	
	40代	176	46.6	38.1	39.2	12.5	10.2	8.0	6.8	29.5	1.7	8.5	25.0	17.0	44.3	6.8	11.9	1.7	1.7	8.0																	
	50代	160	35.0	36.9	41.9	15.6	8.8	6.3	4.4	28.1	1.3	5.6	23.8	13.1	47.5	7.5	10.6	0.6	1.9	5.0																	
60代	211	44.5	41.2	54.5	22.3	5.2	2.4	3.3	28.0	1.4	11.8	36.5	19.9	53.6	13.7	8.1	1.9	0.9	2.4																		

投 票 時 に 決 め 手 に な っ た 情 報 源	投票者全体	803	14.4	31.8	21.4	7.6	10.0	7.7	5.1	18.6	2.9	5.9	13.7	8.3	18.8	1.4	9.2	3.0	1.6	13.4																		
	男性	409	13.7	26.9	22.5	5.6	12.0	7.8	5.4	22.5	2.0	7.6	12.5	8.8	20.5	1.2	4.6	4.2	1.0	14.9																		
	女性	394	15.2	36.8	20.3	9.6	7.9	7.6	4.8	14.5	3.8	4.1	15.0	7.9	17.0	1.5	14.0	1.8	2.3	11.9																		
	18～29歳	126	21.4	29.4	16.7	9.5	11.1	16.7	9.5	18.3	6.3	3.2	8.7	6.3	18.3	1.6	12.7	4.0	2.4	13.5																		
	30代	130	20.8	25.4	19.2	5.4	10.8	9.2	5.4	26.2	6.2	4.6	9.2	7.7	16.2	1.5	13.1	6.2	2.3	12.3																		
	40代	176	13.1	29.5	18.8	2.8	14.2	6.8	6.3	22.2	1.7	5.7	13.1	5.7	17.0	1.1	6.8	3.4	1.1	15.3																		
	50代	160	10.0	33.1	18.8	5.6	11.3	6.9	4.4	14.4	1.9	6.9	14.4	8.1	18.8	0.6	10.0	0.6	1.3	14.4																		
60代	211	10.9	37.9	29.9	13.3	4.3	2.8	1.9	14.2	0.5	7.6	19.4	12.3	22.3	1.9	6.2	1.9	1.4	11.8																			

(注) **XX.X** は全体より10%以上高い、**XX.X** は10%以上低い  
**XX.X** は全体より5%以上高い、**XX.X** は5%以上低い

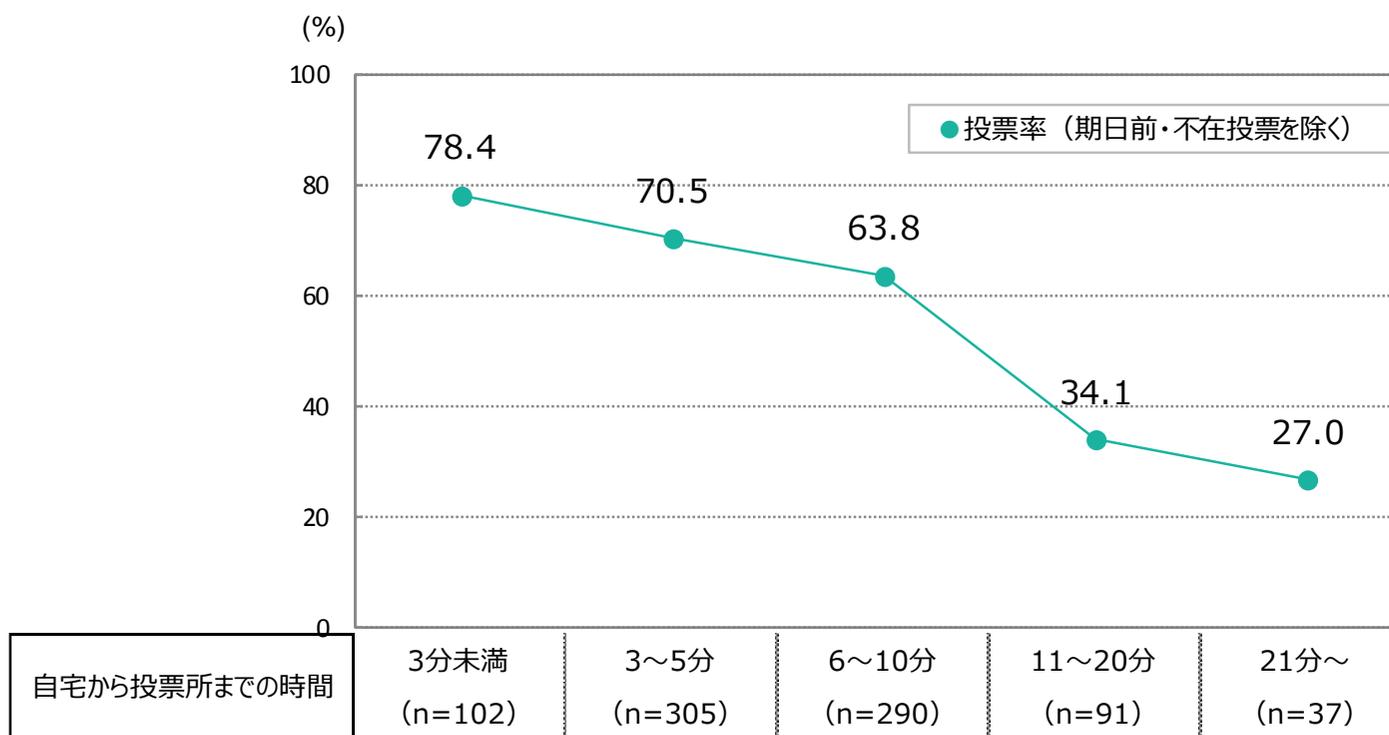
- ◆投票者（803人）に、投票先をいつ決めたか、選挙区と比例代表でそれぞれ聞いた。
- ◆選挙区と比例代表ともに同様の傾向であり、3割弱が公示前に決めていると回答している。
- ◆性別では、男性は選挙区と比例代表ともに公示前に決めている割合が女性より高い。
- ◆また年代別では、18～29歳は公示前に決めている割合が低く、投票日当日に決めている割合が、選挙区と比例代表ともに高い。

投票先を決めたのはいつでしょうか。（事後調査：単一回答）



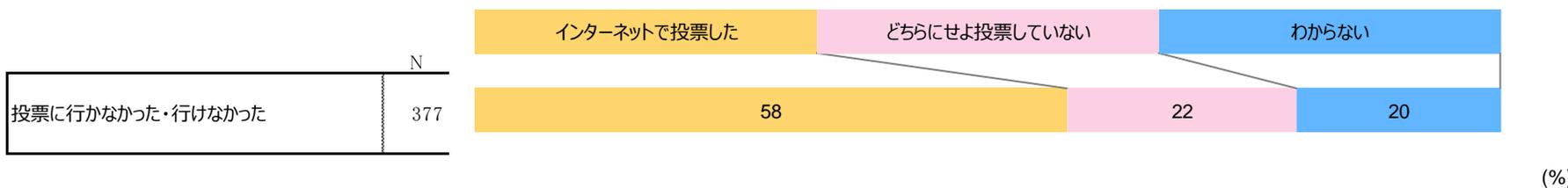
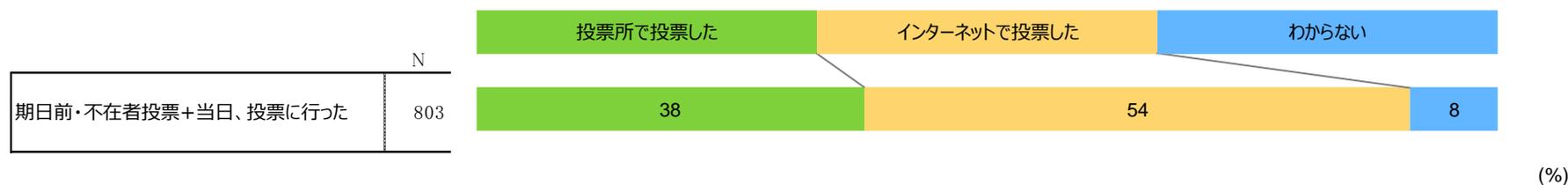
XX.X は全体より10%以上高い、
 XX.X は10%以上低い  
XX.X は全体より5%以上高い、
 XX.X は5%以上低い

- ◆ 投票所への所要時間と投票率（期日前・不在者投票、投票所がどこかわからない人は除く）の関係性をみってみる。
- ◆ 自宅から投票所への時間がかかるほど、投票率が低くなっており、関係性があることがわかる。



- ◆ 現在、日本ではインターネットで投票できる制度はないが（エストニアには導入されてる）、もし仮にスマートフォンやパソコンからインターネットで投票できるとしたら、今回の選挙はどのように投票していたかを聞いた。
- ◆ 実際に投票した人（期日前・不在者投票 + 当日投票）は、半数以上が「インターネットで投票した」と回答した。
- ◆ 投票に行かなかった・行けなかった非投票者では、約6割がインターネットで投票したと回答して「どちらにせよ投票していない」を大きく上回っている。本調査の対象者はインターネットモニターではあるが、インターネットによる投票が現在の投票率を上げる可能性があることを示唆している。

もし仮にスマートフォンやパソコンからインターネットで投票できるとしたら、今回の選挙はどのように投票していましたか。（事後調査：単一回答）



## ◆調査方法

- NRCサイバーパネルを使ったWEB調査

## ◆調査対象

- 全国の18～69歳の男女個人
  - ◆ 事前調査：性別・年代・エリアの構成は、2015年の国勢調査を使って日本の人口構成比に合わせて割付
  - ◆ 事後調査：事前調査に回答した人を対象に、性別と年代で割付して再度国勢調査比に合致するように回収数を調整

## ◆調査期間

- 事前調査： 2019/7/12～7/16
- 事後調査： 2019/7/21（開票後）～7/24

## ◆サンプル構成

	男性	女性	年代別・計
18～29歳	106 (9.0%)	102 (8.6%)	208 (17.6%)
30代	112 (9.5%)	109 (9.2%)	221 (18.7%)
40代	134 (11.4%)	131 (11.1%)	265 (22.5%)
50代	111 (9.4%)	112 (9.5%)	223 (18.9%)
60代	128 (10.8%)	135 (11.4%)	263 (22.3%)
性別・計	591 (50.1%)	589 (49.9%)	<b>1,180</b> (100.0%)

## 《 引用・転載時のお願い 》

本レポートの引用・転載の際は、下記連絡先にメールにて掲載のご連絡をお願い致します。

**連絡先：日本リサーチセンター広報室 メール：information@nrc.co.jp**

**掲載では必ず当社クレジットを明記していただき、  
調査結果のグラフ・表をご利用の場合も、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。**